



今号の厳選写真



院内旅行で東京方面に行ってきました。1日目の隅田川下りは初めての経験でした。また、スカイツリー、東京タワー、レインボーブリッジ等見所満載でした。東京、横浜、鎌倉と食べては観光・見るものもいっぱい、お腹もいっぱいのもとても充実した2日間でした。

撮影・ゆらり 塩崎和美
寄稿・水都苑 渡邊奈々



理念

病める人の立場に立った、患者さん中心の医療
地域の期待に応えられる、より良い医療サービスの提供
当院は社会医療法人としての社会的使命を認識し、患者さんの立場に立った質の高い地域医療の提供に努めます。



方針

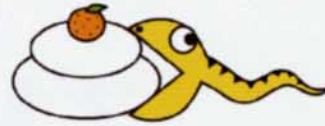
1. 医療の質の向上による疾病の早期発見と治療
2. 個人の権利を尊重し、患者さんと共に考える医療の実践
3. 医療に関する安全管理の徹底
4. 包括的ケアシステムによるサービスの提供
5. 地域社会との連携の推進、強化
6. 健全経営による病院運営



村上記念病院

MURAKAMI MEMORIAL HOSPITAL

新年互礼会・永年勤続表彰



院長より年頭のあいさつ



2012年はオリンピックだけでなく、IPS細胞の研究に対するノーベル医学・生理学賞の受賞など日本人として誇り高い年で、まさに登り竜のごとく躍進した年でした。また年末には政権も交代し、医療界にも新しい医療制度の導入も予想されます。しかし膨張し続ける医療費にも相変わらず厳しい目が向けられることでしょう。十二支での巳は、植物に種子がではじめる時期とされ、また蛇は脱皮し成長しながらしっかりと地を這って着実に進む縁起のいい動物です。私達は今年もよい1年になりますよう政策や医療情勢の変化にも対応しながら、地域医療を守り医療サービスの向上をめざし職員一丸となって頑張る所存です。今年もよろしくお願ひします。

☆ 永年勤続表彰のみなさん ☆



永年の功労に感謝し、理事長より感謝状が授与されました。みなさん、これからも後進の指導はもとより、更生会の発展のために頑張ってください。私たちも後に続いていけるように努力を重ねます。

勤続25年: 越智泰隆・田畑幸子・中平加代子

勤続15年: 神田恭子・楠絵里・小林有紀

白石美樹・田中美和子・中田美恵子

西村優子・野中寿・藤中裕香里

勤続10年: 神野沙弥香・高橋道子・松浦聡

以上15名（敬称略）

訃報



昭和38年4月より長きにわたり、村上記念病院のため、また、地域医療の発展のためにご尽力いただいた会長兼老健施設長村上緑葉先生が平成25年1月28日ご逝去されました。これまでの功績を称え、職員一同、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

25年表彰者の一言

入職25年を迎えて 画像診断センター主任 越智泰隆

昭和62年1月4日より、放射線科に勤めて26年になりました。入職当時から今日までの間に3階建てだった病院は7階建てになり、撮影機器もMRIをはじめとても多くなりました。放射線科も画像診断センターと名称が変わり長い年月を感じることができます。今後ともこの最先端機器を活用し、画像診断センター職員一同の協力のもとに、患者様によりよい医療につながる画像情報を提供していきたいと思っています。25年の表彰をいただき有難うございました。

永年勤続表彰 2病棟師長 田畑幸子

このような表彰を頂きありがとうございます。これまで勤めさせていただけたのも、皆様方のお力添えがあったからこそだと感謝いたしております。25年前、たくさんの不安の中で勤務につき、さまざまな経験を積んできました。今となってはそれもいい思い出となっております。その積み重ねてきた経験を、おごることなくこれからも進んでいきたいと思っています。まだまだ私たちの力は微力ですが、患者様の為に何が出来るのかと日々の業務の中で常に考え、患者様の満足につながるよう、この病院のために努力を積み重ねていきたいと思っています。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

入職25年に思う 4病棟主任 中平加代子

西条市に住んで25年が経ち、その時生まれた娘も25歳になった。自分も、生まれて半世紀以上経った。「山を越えて行くなんて」と結婚時言った祖母はもういないが、今では、砥部の実家より長い時間を西条で過ごしている。入職時、徳太郎先生に「我が道」という自叙伝をいただいた。患者様のために、そして職員は家族のように、食堂で昼食を食べたことが懐かしく思い出される。病院の規模は大きくなり、パソコンが活躍する時代になったが、これからも人とのつながりを大切にしていきたいと思う今日この頃である。いたらない私にお付き合い下さる皆様に感謝、感謝である。

院内旅行

一泊二日は東京方面と九州方面、日帰りは大阪方面と鳥取・岡山方面の4グループに分かれて、それぞれの旅行を楽しみ親睦を深めてきました。



海響館

九州方面は、博多や海響館(水族館)などに行ってきました。博多は今回が、初めてでしたが、期待通り非常に賑わっておいりました。買い物やもつ鍋、屋台でのラーメン等、いろいろな名物を楽しむことができました。日頃のストレスを発散し英気を養うことができました。

リハビリテーション
相原敏弘



東京方面



リッツカールトンホテル大阪
ランチビュッフェ

大阪のホテルでの昼食はスイーツも種類が豊富で盛り沢山、どれも美味しくお腹いっぱいになるまで堪能できました。食後ステーションシティを2時間ほど自由散策し複数のテナントがありまるで迷路のようでしたが、思い思いの時を過ごすことができました。

H24年度防災訓練を行って

透析室 楠本雄一郎



今回防災についての講習会を受け、大変多くのことを学ぶことができました。そのひとつに、「確かな情報を得られることの大切さ」があります。私自身は今までに大きな災害に直面したことはありませんが、TV等で報じられるさまざまな災害現場のシーンや、その後ニュースなどを見聞きし、ぼんやりとしたイメージの中で、実体験がないにもかかわらず災害の知識はある程度学べていると思っていました。

しかし、それらは「確かな情報」ではなく「机上の空論」に過ぎませんでした。実際に被災地へ足を踏み入れ、現場でのボランティア活動を行った方の体験談を聞き、私が今まで「災害とはこうだろう」と思っていたイメージや情報と、現場での現実との間のギャップがいかに大きいものかを痛感することとなりました。

食事面でいうと、被災地の現場では、手軽に食べられ栄養価も高いカップ麺やカップスープなどがあれば大丈夫だとばかり思っていたのですが、実際は廃棄場所の問題で、食事後に出る残り汁を捨てる場所がなく、汁やスープを残さず飲む高齢者が多くなり、高血圧症状に悩まされていることも初めて知りました。現地においてインスタント食品では、汁の出ないものが重宝されており、コンビニなどで売っているパック入り惣菜や魚肉ソーセージなどが手軽に食べられる食材だということも学びました。こういった実体験から得られる「確かな情報」を知っているのと知らないのでは、いざという時大きな差となるでしょう。

また、災害対策のQ&Aで意外だったのは、ガソリンスタンドは火災に強い場所であり、震災時の火災の避難先に適しているということです。ガソリンや軽油などがある為、ガソリンスタンドは危険な場所で避難には適さないはず、と勝手に思い込んでいましたが、実際はすごく安全な場所であるという事実を知り大変驚きました。更に、家屋倒壊などで長時間重たい物に挟まれている人を発見した場合は、下手に障害物を持ち上げて助けようとする、それまで重たい物に体を挟まれ停滞していた血液が一気に体に流れてしまい、大量の毒素が全身に回って大変危険であることも学ぶことが出来ました。専門の救急隊を呼び下手に動かさない。これがその時できる最良の選択肢であるということは私には予想もつきませんでした。ただ助けてあげたいという気持ちで、救助に向かっても、正しい情報や知識が伴っていないと、かえって危険を招いてしまうこともあるのです。災害はいつどこで起こるか分かりません。我々の住むこの地域も南海大地震が近い将来必ず起こるといわれています。今回の防災訓練において一つでも確かな知識を学び、いざという時に備え、自分の糧にしたいと思いました。



外来(脳神経外科) 三宅こずえ

H24年11月23日、毎年恒例の朝日町自治会との合同防災訓練が行なわれました。今回は大町連合自治会からもご参加頂き、総勢158名での訓練となりました。病院の6階と1階の2つのグループの入れ替わり式で、6階では防災クイズを、1階では①起震車体験②非常食展示③応急処置の3ブースを設けました。起震車体験以外の時間で②③を見て廻る、自由参加のかたちをとり、大勢が体験できるようにしました。

私は応急処置ブースの担当で、情報を発信する側としての参加は初めてでした。声が上ずり、精一杯の笑顔も緊張で固まるのを感じるほどでしたが、体験に意欲的な地域の方々や消防関係の方々のご協力の下、和やかな雰囲気の中訓練を終えることが出来ました。

将来必ずやってくる災害に備え、今後も地域の方々と共に防災に取り組んでいきたいと思いません。ご参加下さったすべての方々に感謝いたします。



起震車体験



応急処置



非常食展示

ハーモニカ コンサート
宇佐美 進とボラリス西条



2月7日、宇佐美進さんとボラリス西条の皆さんが、ボランティアでハーモニカコンサートをして下さいました。演歌や童謡など美しいメロディに本当に誰もが癒されたひと時でした。

年忘れ落語会

去る12月12日、落語家の笑福亭喬若さんと露の紫さんを迎えて年忘れ落語会を開催致しました。周辺地域の方や入院患者さんなど沢山の皆様がお越しになり大盛況でした。最後にサイン色紙の抽選会もあり楽しんで頂きました。



院内ボランティアを募集しています

当院では、地域に開かれた病院運営を行うことを目的に一人一人の患者さんを大切に思い健康回復をともに願って下さり、無償の善意で定期的に活動していただける院内ボランティアを募集しています。ボランティアの方には年1回の無料健診をうけていただいております。また、単発的な活動をしていただける方も歓迎いたします。

《お問合せ先・お申し込み先》

村上記念病院・地域医療連携室

TEL・0897-56-2300 (代表)

0897-56-2281 (直通)



医事課より 診療費の不思議について

企画広報委員

医事課・原澤 三奈子

みなさんは病院で診察を受けた時、診療行為に値札がついている訳ではないので、窓口で請求されるまで自分がいくら支払うのか分からず不安になったりしたことはありませんか？ここでは診療費がどのようにして決められているのかを簡単に解説します。

●●● 支払額はどのようにして決めている？ ●●●

すべての診療費は、国が決めた「点数」に基づいています。医療行為を受けた時の診察、検査、処置、薬の処方などの値段は、すべて国によって細かく「点数」が定められています。この点数を「診療報酬」といいます。診療報酬は、1点=10円で計算されます。その金額「診療費」に、自分が加入している健康保険の負担率(3割負担や1割負担)をかけた額が、実際に窓口で支払う金額です。

●●● 月初めに支払額が高いのはなぜ？ ●●●

慢性疾患等で定期通院している人などが感じていると思いますが、月初めにいつもと変わらない診察をしても支払額が高いことがあります。その理由は、月1回のみ加算するなどという診療報酬があるからです。

これらは、支払時にもう明細書に書かれてあるので例をあげてみましょう。
例)月が変わって初めて定期受診をし血液検査、CT検査、投薬が行われた場合。

区分	項目名	点数	回数
初・再診料	再診料	69	1
医学管理等	特定疾患療養管理料	87	1
検査	B-Tcho	17	1
	血液採取料	16	1
	生化学的検査(I判断料)	144	1
画像診断	検体検査管理加算	40	1
	CTスキャン	1020	1
	コンピューター断層診断	450	1
投薬	画像診断管理加算	180	1
	処方せん料	68	1
	特定疾患処方管理加算	18	1

特定の疾患に対し医師が説明したときに月2回まで算定。

採血を行ったとき月1回算定。

CTやMRIを撮ったとき月1回算定。

特定の疾患に対し処方された時月2回算定。



※例をみて分かるように、月1回、月2回など月初めに診察や検査を行ったとき加算される診療報酬がたくさんあります。(ここでは赤字がすべてそれにあたります)月1回となっているものは同じ月に何度検査しても、2回目からは加算されません。

●●● 支払額が高額になるかも??不安な時はどうする?? ●●●

入院や手術、また外来でも高額な治療がおこなわれることもあります。そんな時に心強いのが「高額療養費制度」の存在です。高額療養費制度とは、1カ月間に支払う自己負担額が一定額を超えた場合に超過分が支給される制度です。現在は、加入している保険者に事前に申請することにより「限度額認定証」を発行してもらえます。そうすると病院での支払額が限度額+α(食事代や部屋代等)でよくなりますので、当院では事前申請をお勧めしています。

わからないことがあれば、お気軽に医事課・受付にご相談ください!!!

ボランティアさんのクリスマス



聖マリア土曜学校の子供達が5階介護病棟でクリスマスの歌と折り紙のプレゼントをして下さいました。最後に一人一人握手をして、喜びの一時となりました。



4階療養病棟で、歌と演奏のプレゼントをして下さいました。アベマリア・アメージンググレイスなど・・・患者さんも職員も癒され楽しませていただきました。

健康教室予定表 H25年3～5月

場所：6階多目的ホール

時間：午前11：00～約30分

日時	テーマ	担当講師
3月 8日(金)	「花粉症シーズン到来！花粉症対策できてますか」 食事会あり	2F看護師
3月28日(木)	「からだも心も軽くなろう～便秘のはなし～」	薬局
4月12日(金)	「胃の健康度」を調べましょう	検査室
4月25日(木)	未定	リハビリ
5月10日(金)	「今日からできる！お口にやさしい生活習慣」	歯科衛生士
5月23日(木)	「おやつの“ちょっと”は何kcal!？」	栄養課

食事会に参加希望の方は、1ヶ月前に内科外来へ予約をお願いいたします。

糖尿病教育委員会

市内病医院探訪 平田クリニック

【所在地】
西条市周布2172-1
TEL 0898-76-2256
FAX 0898-76-2257

診療科目
整形外科 外科
リハビリテーション科

診療時間
午前 8：30～12：30
午後14：30～18：30

(休診)

日曜・祝祭日・水曜午後・土曜午後

院長：平田 進英
(ひらた しんえい)
出身地：沖縄
診療科：整形外科・外科
リハビリテーション科

腰痛、膝痛、その他の慢性疼痛及び急性外傷、スポーツ障害を主として診療しています。村上記念病院の先生方には、日頃患者様の事で無理なお願いをしています。今後ともよろしくお願い致します。

